

平成 27 年度第 1 回 輝く女性応援京都会議企画委員会 結果概要

日 時：平成 27 年 7 月 29 日（水）13：00～15：00

場 所：ホテル日航プリンセス京都 5 階「フリースタイル」

事務局：京都府、京都市、京都労働局及び京都商工会議所

内 容：

■議題 1 輝く女性応援京都会議設置要綱案について

京都会議の設置要綱を資料 1 設置要綱案のとおりとすることで全員了承。

■議題 2 輝く女性応援京都会議構成団体の平成 27 年度の取組について

各構成団体の平成 27 年度の女性活躍推進の取組について、資料 3 にしたがって、出席者から説明。

■議題 3 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案について

京都労働局から、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律案について概要説明。

■議題 4 輝く女性応援京都会議「推進計画」骨子案について

資料 4 推進計画骨子案を事務局から説明。

骨子案の内容、数値目標を設置するか、設置する場合、どのようなものとするか、計画期間をどうするか等について意見を伺った。なお、今後骨子案について、各構成団体に照会し、改めて意見を伺うことにする。

(主な質問・意見等)

- 我々に求められているのは、それぞれの構成団体が如何にギアチェンジを図って、次のステップにどう飛躍をさせていくかということ。
- 女性の起業・創業支援は、府・市・金融機関・産業支援機関がいろいろな形でやっている。何が課題なのか、さらなるステップアップを図るにはどのような支援が必要なのかについての関係機関間の検討はあまりされていないのではないかと。それぞれの役割分担や連携が必要である。
- 京都は、非常に残業が多く非正規率も高いというデータがある。女性が輝くのは、社会に出てしっかり活躍することが大切だ。中小企業も多いので、せっかく育った社員が結婚・出産で辞めていくという状況があり、改善しないといけない。
- 中小企業には、結婚や出産により、大企業や中堅企業を辞めた女性が再就職しているケースが多くあり、優秀な女性もたくさんいる。しかしこのような女性に対し、是非幹部に登用しようと経営者が働きかけても、家庭の事情等によりなかなか

か承諾しないということがある。

- 起業する女性の増加こそは、女性の社会進出が端的に表れる数字の一つではないか。メルクマールとして意味のあるものではないか。
- ダイバーシティ（多様性）を認める文化が都市域の産業のイノベーションのきっかけとなるという見方をしており、この会議で語られている女性という言葉がいつかは、多様性という言葉に変わっていくことを目指している。
- 女性限定のセミナーを実施すると、女性は横のネットワークを作るのが上手で、そこから販路開拓が出来たり、ビジネスチャンスが生まれるというケースもある。女性限定で実施することの成果も出てきているという実感も少し持っている。金融機関に資金調達を申し込む女性の割合は、統計によると13パーセントくらいと少ない。身近なところからやるというのが女性の起業のパターン。そういった部分に対しても支援するために女性限定という形をとるのもいいのではないかと考える。
- 女性限定で大学生や高校生にキャリアセミナーを行っているが、今後理解ある男性にも参加をしてもらい、切り口を変えることも検討している。
- 推進計画骨子案に、具体的な数値目標の案があるが、現在の実績がわからないと目標をどこに持って行くかも出てこないなので、例えば女性のネットワークの数などは、各団体において、既存のグループがいくつあるのかなど、現状把握が必要。
- 計画も重要だが、府民に見える活動を行い、会議が実際に動いている姿をいかに見せていくかについても重視していただきたい。

■議題5 平成27年度年間スケジュール案について

事務局から輝く女性応援京都会議の平成27年度年間スケジュール案について、資料2により説明。